

人権
① 第 3 学年 科学習指導案

学習指導者 B グループ

1 単元名 じかよしなの

2 授業について (ねらいや付けたい力、工夫点等)

住んでいる所で人を差別することは間違っていることに気づくとともに、不当な差別で苦しむ人を守るために、どのような行動ができるのかを具体的に考えることができる。

3 単元構成

全(2時間) ① 関係おこし、自分事としてとらえる

② 具体的な行動を考える

4 本時の学習指導

(1) 目標

(2) 学習指導過程

学習活動	予想される子どもの反応	
前時のふり返り、課題をたどる	この問題を解決することができるかどうかが考える ① 手紙が笑顔になるにはどうすればいいかを考える 父に直接言う、だれかといく、家族に相談、その他 「セリフ」、友達と手紙でか、母に言う、母に言う、セリフに相談、その他 ② 自分の「こんなだったらいい」ということで、言ったり、行動したりする ③ 自分の「こんなだったらいい」ということで、言ったり、行動したりする ④ 自分の「こんなだったらいい」ということで、言ったり、行動したりする	名前確認で自分の立場(子か父か)を明確にする 考えられる方法で具体的な言葉や行動を考える 自分の考えを1人で考えた子→赤印なし 友達と考えた子→赤印なし 先生と考えた子→赤印なし 具体的な行動をふせん紙にかく カラーコピーごとに教員が板書に整理する セリフを考えている児童の言葉に注目して伝える時の言葉づかいをあげる 父親が思っているように、父親の子どもを思いやる気持ちになる
友だちの意見から、思ったことを共有	① 自分の「こんなだったらいい」ということで、言ったり、行動したりする ② 自分の「こんなだったらいい」ということで、言ったり、行動したりする ③ 自分の「こんなだったらいい」ということで、言ったり、行動したりする ④ 自分の「こんなだったらいい」ということで、言ったり、行動したりする	板書計画 「なにかいふこと」 ① 手紙が笑顔になるにはどうすればいいかを考える ② 自分の「こんなだったらいい」ということで、言ったり、行動したりする ③ 自分の「こんなだったらいい」ということで、言ったり、行動したりする ④ 自分の「こんなだったらいい」ということで、言ったり、行動したりする